

かもめだより No.25

沼津市議会 会派「市民クラブ」会報

2017年3月23日

2月定例議会号

発行 市民クラブ

発行責任者 鈴木 秀郷

鈴木代表の質問に対し、新市長は鉄道高架事業の推進を明言！

2月議会において、鈴木代表が会派を代表し、市長の政治姿勢を質したところ、先の沼津市長選挙以来「事業の推進に賛成でも反対でもなく中立」であるとしてきた鉄道高架事業について、市長より力強く推進していく旨の答弁がありましたので、ご紹介します。



発言する鈴木代表

市民クラブ代表質問

世界一元気な沼津の実現に向け、事業推進に向けた市長の力強い決意を伺う！

駅周辺では鉄道高架事業の完成を見込み、民間投資の動きが加速度を増し、マンションや専門学校などが次々と建設されている。こうした新たなまちづくりの進展を目の当たりにし、多くの市民の関心事は、事業完成時期をいかに早めていくかとなっている。

事業推進派、反対派、双方が参加した沼津高架PIプロジェクトにおいて「何も決まらない状態は最も避けるべき」との共通認識が示された。こうした観点からも、推進すると決断したからには、後戻りせず、一刻も早くまちづくりを進めることが重要。世界一元気な沼津の実現に向け、事業推進に向けた市長の力強い決意を伺う！

市長の答弁

今必要なのは世界一元気な沼津となるために前に進むこと。私自身できる限りの検証をしてきた。もう答えは出ている。

市民クラブ代表質問の概要

1 市長の政治姿勢について

(1) 施政方針について

① 鉄道高架事業について

② 「世界一元気な沼津」の実現のための考えについて

③ 広域行政の連携策について

④ 高尾山古墳の保存と沼津南一色線の建設への対応について

⑤ 沼川(高橋川)豪雨災害対策アクションプランと大平地区豪雨災害対策アクションプランについて

◎鉄道高架化による効果は明快。そのことに異論を唱える方はいないと思う。

◎貨物駅の移転着工6年後に南北自由通路を実現する設計検討が、県により進んでいる。

◎事業がスタートしたら、経済界が投資を加速するとの感触がある。経済界の期待も大きい。

2月議会 所属議員の活動

2月議会での一般質問など、各議員の活動を紹介します。

障がい者への住宅改造費補助の対象範囲拡大を！

身体に重度の障がいのある人が安心して日常生活を送れるよう、「補助申請の段階では居住していないが、居住を前提とした住宅改造の補助」についても、対象としていくべき。



梶 泰久議員

市長による市職員の「働き方改革」推進を！

時間外勤務の改善は喫緊の課題。市長は、正しい方向に導く迅速明快な決断力と、強力なリーダーシップを発揮し、職員の仕事の無理・無駄・ムラをなくす解決策を導き出すべき。



霞 恵介議員

特別委員会設置の提案説明を行いました

市民に開かれた議会の実現に向けて、さらなる議会活性化を推進するための調査・研究を行う「議会活性化等特別委員会」を設置の提案説明を行いました。



渡部 一二実副議長

消防団員の処遇改善を進めています

総務委員長として、消防団員の手当引き上げの条例改正について審査をしました。消防団員の確保は重要な課題です。引き続き、会派としてもしっかりと取り組んでいきます。



原 信也議員

議会活性化等特別委員会の委員長に就任

市民クラブを代表して委員会に参画することになりました。また、第一回目の委員会における選挙の結果、委員長に選任されました。意義ある委員会となるよう、委員会の長としての責務を果たしていきます。



深田 昇議員

編集後記

市民クラブが要望し続けてきた、子ども医療費の完全無償化が実現。本年10月より実施予定です。引き続き、市民目線での活動をしていきます。

ホームページを覗いてみてください。

沼津市民クラブ

検索